

マガン

Anser albifrons (Scopoli)

カモ目カモ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

全国的にも越冬地は限られており、中でも石川県は有数の越冬地であること。また水田の減少および乾田化で、生息環境が悪化している。

形態

全長65～78cm。雌雄同色。全体的に灰褐色。成鳥は嘴がオレンジ色またはピンク。額が白、腹に不規則な黒斑がある。秋季の幼鳥は嘴が濁黄色で、先端などが黒く、額の白と腹の黒斑を欠く。下尾筒は白。足はオレンジ色。

国内分布

冬鳥として日本に渡来し、北日本に局地的に越冬する。3万羽が越冬しているといわれているが、その約8割が宮城県の伊豆沼である。ここ10年間で日本への渡来数は3～4倍に増加しているが、アジア全体では10分の1に減少していると言われる。

県内分布

片野鴨池に約2,000羽が越冬しており、福井県坂井平野と行き来をしている。その他に珠洲市、邑知潟、志賀町、河北潟などに越冬群が見られる。

生態

淡水湖沼または干潟とその後背地に採食地となる水田などの広い耕地を持つ地域に生息する。イネの籾や二番穂、イネ科の水田雑草などを食べる。警戒心が非常に強い。

生息地の条件

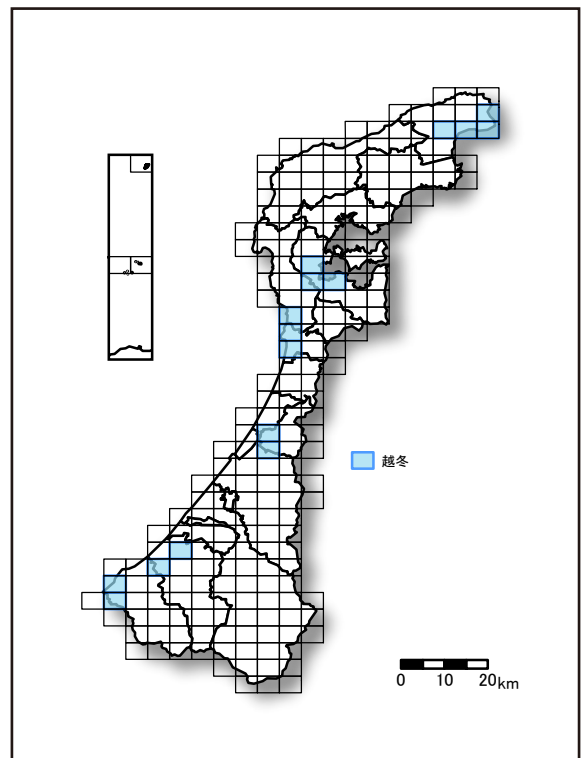
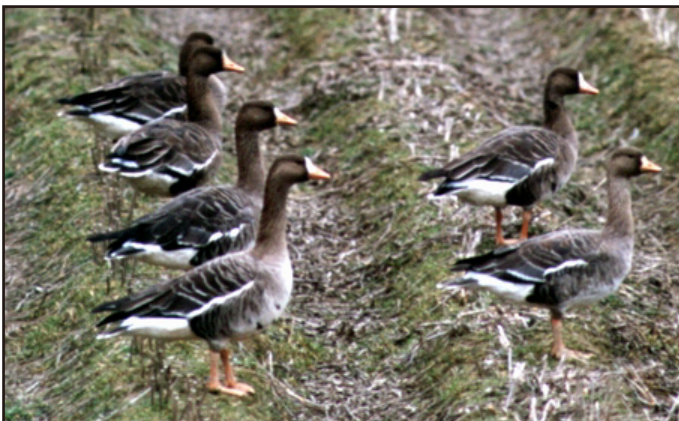
人がほとんど入らないような広い田圃や畑があり、落ち着いて寝られる埤（池や潟）があること。

生存の危機

水田の減少および乾田化により、生息地と餌が不足。ハンターによる間接的な影響も大きい。(A)

特記事項

国指定天然記念物。



県内の分布